

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 12月 18日

**【評価実施概要】**

事業所番号	0171200157		
法人名	医療法人社団 恵庭南病院		
事業所名	グループホーム 恵風		
所在地	恵庭市緑町2丁目12番12号 (電話) 0123-34-1922		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年12月16日	評価確定日	平成22年2月18日

【情報提供票より】 (平成21年11月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年 5月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算	4.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000~38,000円	その他の経費(月額)	光熱水費13,200円 暖房費(11~4月) 7,500円	
敷金	有( )		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要 (11月 27日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	0名	要介護2		2名	
要介護3	5名	要介護4		2名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 84.6歳	最低	68歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵庭南病院、はた歯科
---------	------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

運営法人である病院の隣にある2階建て1ユニットのグループホームです。ホーム内は家庭的でゆったりと落ち着いた雰囲気であり、ホームの理念とともに「笑顔の見えるケア」を目指して職員が取り組み、笑い声の絶えない生活が実現できています。職員に看護師を配置し、運営法人の病院との連携体制も確立して利用者や家族の安心につなげています。外出支援や日々の楽しみ、地域との交流を活発に行ない、利用者は活動的でいきいきとした生活を送っています。職員の研修への参加やサービス向上に向けての取り組みが充実しており、外部評価の結果も十分に活用されています。また日頃から地域に対し、災害時や急な外出が起きた場合の協力も働きかけています。

**【重点項目への取組状況】**

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果については「取り組みを期待したい項目」の改善点を話し合い、指摘事項の改善がされています。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員がそれぞれ取り組んでいますが、項目内容をより深くとらえて取り組む必要性が感じられますので、ガイドブックを活用して職員全員がより深く内容を理解し、記入内容を検討されるよう期待します。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヵ月に1回のペースで開催され、地域包括支援センター、市の職員、民生委員、町内会代表などの参加をいただき、外部評価結果も報告されています。しかし、活動報告が中心でありサービス向上に向けた活発な意見交換が行なわれているとまではいえませんので、市や地域包括支援センターの意見を参考に、事前のテーマ選定や活発な意見交換に向けた準備を行ない、会議内容の充実を期待します。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 運営推進会議に毎回2名程度の家族の参加をいただいています。玄関付近に意見箱を設置しているほか、日頃から家族にゆっくり話しかけ、意見を引き出すように心がけています。運営規定や重要事項説明書に外部の苦情受付機関を明示しています。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日頃から散歩で会った住民の方々と挨拶を交わしたり、町内会に加入して町内清掃やお祭りなどの行事に参加しています。住民の方々にも避難訓練や焼肉パーティー、流しソーメンなど、ホームの行事に参加していただいています。病院の託児所の子供たちの訪問もあります。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念を作り、「地域との触れ合い、交流を大切にします」という文言を入れ、地域との関係を重視した地域密着型サービスとしての理念を確立しています。さらに「笑顔の見えるケア」を目標にサービスを実践しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は3項目からなる簡潔で分かり易いものであり、玄関付近に大きく掲示するとともに、パンフレットにも明記されています。理念は月1回の会議で唱和され、職員はケアに活かすように取り組んでいます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日頃から散歩で会った住民の方々と挨拶を交わしたり、町内会に加入して町内清掃やお祭りなどの行事に参加しています。住民の方々にも避難訓練や焼肉パーティー、流しソーメンなどホームの行事に参加していただいています。病院の託児所の子供たちの訪問もあります。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については「取り組みを期待したい項目」の改善点を話し合い、指摘事項の改善がされています。自己評価は職員がそれぞれ取り組んでいますが、項目内容をより深くとらえて取り組む必要性が感じられます。	○	自己評価をさらに有意義なものとするため、ガイドブックを活用して職員全員がより深く内容を理解し、記入内容を検討されるよう期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月に1回のペースで開催され、地域包括支援センター、市の職員、民生委員、町内会代表などの参加をいただき、外部評価結果も報告されています。しかし、活動報告が中心であり、サービス向上に向けた活発な意見交換が行なわれているとまではいえません。	○	運営推進会議をより有意義なものとするため、市や地域包括支援センターの意見を参考に、事前のテーマ選定や活発な意見交換に向けた準備を行ない、会議内容の充実を期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に市の職員と地域包括支援センター職員の参加をいただいているほか、市の担当者や研修計画や運営上の相談、生活保護に係る相談を行なうなど、情報交換を行なっています。また市の主催する研修に大半の職員が参加しています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪が頻繁にあり、その際に利用者の暮らしぶりを報告しています。また、ホーム便り「けいふう」を2ヵ月に1度作成しているほか、家族向けのメッセージを作り請求書とともに家族に送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に毎回2名程度の家族の参加をいただいています。玄関付近に意見箱を設置しているほか、日頃から家族にゆっくり話しかけ、意見を引き出すように心がけています。運営規定や重要事項説明書に外部の苦情受付機関を明示しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の不安を考慮して異動を最小限にとどめるよう努めています。異動がある場合でも1ヵ月の引継ぎ期間を設けるなど、ダメージの防止に努めており、過去にダメージが見られたケースはありません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人の病院が主催する研修が毎月開催されており、職員が年に2回程度参加しています。2カ月に1回程度開催される市主催の研修にも毎回、職員の半数程度が参加しています。また、3名の職員が順番に実践者研修に参加しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市のグループホーム管理者会議に参加し、同業者と交流する機会を持っています。職員も市内のグループホームネットワーク共同での勉強会で、他のグループホーム職員と交流する機会があり、事例検討会などを行なっています。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	運営法人の病院やデイサービスからの入居が多く、利用開始前に職員と馴染みの関係を築くことができています。利用開始後も生活歴などの情報をいただき、暮らしに反映させ早くホームに馴染めるよう工夫しています。部屋で過ごすことが好きな利用者は、無理をせずホームの生活に馴染んでいただいています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者に昔の料理の方法や花の植え方、戦争の話などを教えていただき、職員が学んでいます。夜勤の際に職員に感謝やいたわりの言葉をかけていただいたり、戸締りの確認を聞くなど、お互いに支え合う関係が築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉で意思を伝えていただく利用者が多く、伝えられない利用者も、表情やわずかな発語から、意思を確認するよう努めています。また、生活歴などを事前に家族から聞いてます。しかし、入居後に得られた利用者の情報の蓄積は必ずしも十分とはいえません。	○	日々の介護の中で得られた利用者の情報や職員の気づきを記録、蓄積し各職員が必要などに見やすいよう項目を整理し、整備されるよう期待します。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	当初の作成時に利用者や家族、医療関係者の意見や基本情報を参考にアセスメントを行ない、ケアチェック表の項目にそって職員間で話し合い、介護計画を作成しています。介護計画の内容は病気や健康に関する項目が中心となっており、地域でその人らしく生活できるという観点での項目はあまり見られません。	○	利用者がその人らしく暮らすために必要なことを支援する、という観点も盛り込んだ介護計画の作成を期待します。センター方式を活用した計画の作成を検討中とのことです。今後の取り組みを期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎に介護計画の見直しが行なわれており、利用者の状況に応じ、その都度の見直しも実施されています。ケアチェック表の項目に沿って職員全員で話し合い、検討内容も記録・整理されています。また計画内容を家族に説明し、確認の署名・捺印をいただいています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買物やドライブ、外食、ドッグセラピー、訪問理美容など、利用者の希望に沿って多面的な支援を提供しています。遠方の家族の宿泊にも対応しています。週2回、運営法人所有のバスで希望に応じた外出支援を行なっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>運営法人の病院からの入居がほとんどで、従来の担当医と十分な情報交換ができる体制にあり、継続的な受診や治療ができています。隣接する病院への通院支援を行ない、受診結果は来訪時または電話にて家族に報告しています。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用開始前に「重度化した場合の対応に係る指針」を利用者および家族に説明し取り交わしています。過去に看取りの経験はありませんが、ホームとしてはできるだけ最後まで支援する意向を持っています。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇りやプライバシーを尊重し、トイレ誘導や排便の際も周りに気づかれないように慎重に対応しています。個人記録等も適切に保管し、個人情報の利用も必要最小限にしています。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>事前に利用者や家族から収集した生活歴や要望を参考に、ホームの都合を優先することなく利用者の体調や希望、ペースに合わせた生活支援を行なっています。起床や食事の時刻、服装なども利用者本位で調整しています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、盛り付け、茶碗拭きなど利用者の協力をいただいております。職員が利用者と一緒に会話しながら楽しく食事をしています。水曜日は独自メニューの日として利用者の要望に基づく献立としています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回程度を目処に入浴しています。入浴を拒む場合は、足浴や清拭にするなど、清潔を保ちながら柔軟に対応しています。入浴の長さや風呂の温度も希望にあわせています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事や料理の下ごしらえ、中華料理作り、茶碗拭き、タオルたたみなど、利用者には自分の役割を持って手伝っていただいております。読書を楽しんでいる利用者もいます。お茶やマンドリン演奏のボランティアの訪問もあります。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近くの公園や緑地に散歩に出かけており、車椅子での散歩も支援しています。車を使った買物や外食の支援も行なっています。また、花見やいちご狩り、ピクニックなど年間行事での外出機会も提供しています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵がなく、玄関も夜間以外は鍵をかけていません。玄関の内側の戸にセンサーを設置し、ホーム内でも外出が把握できるようにしています。急な外出が起きた場合の対応についての手順や連絡網も用意されています。		

恵庭市 グループホーム 恵風

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回を目処に日中および夜間を想定した避難訓練を実施しており、地域住民の方々の参加もいただいています。職員は救急救命訓練にも参加しています。ホーム内にはスプリンクラーが設置されています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	運営法人の病院の栄養士に献立を作成していただき、カロリーや栄養バランスが考慮されたメニューとなっています。また食事や水分の摂取量もきめ細かく記録しており、水分の少ない場合はこまめに調整しています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に保たれ家庭的な雰囲気となっています。また壁には利用者の写真がふんだんに飾られています。温度や湿度、光や音も適切に調節され居心地よく過ごせるように保たれています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の馴染みの家具や生活用品が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっています。居室に温度計、湿度計が設置されて調整されています。熱交換型の換気扇や加湿器なども利用しています。		

※  は、重点項目。